

CASBEE 京都-新築

標準システム 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築(2011年版) 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1.2)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)グランメゾン京都岡崎計画	階数	地上3F
建設地	京都市左京区岡崎南御所町35番1	構造	RC造
用途地域	第2種住居地域/第1種低層住居専用	平均居住人員	84人
気候区分	地域区分Ⅳ	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年12月 予定	評価の実施日	2013年12月11日
敷地面積	2,402 m ²	作成者	株式会社東洋設計事務所
建築面積	959 m ²	確認日	
延床面積	2,617 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 2.7 ★★★★★☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%

②建築物の取組み 69%

③上記+②以外の 68%

④上記+ 68%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.7

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.5

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.6

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.2

LR のスコア = 3.9

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.4

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.6

3 設計上の配慮事項		その他
総合		
Q1 室内環境 ほぼ全面的にF☆☆☆☆☆建材を採用する等、室内環境に対して配慮をおこなった	Q2 サービス性能 光ケーブル1Gbitの採用や、内装材に耐用年数の高いものを採用する等、サービス性能に対して配慮をおこなった	Q3 室外環境(敷地内) 目隠しフェンスにより防犯性に配慮する等、敷地内に対して配慮をおこなった
LR1 エネルギー 太陽光パネル、高効率機器の採用等、エネルギーに対して配慮をおこなった	LR2 資源・マテリアル リサイクル材の採用、部材の再利用の取組等、資源に対して配慮をおこなった	LR3 敷地外環境 光害対策ガイドラインチェックリストの過半を満たす等、敷地外環境に対する配慮をおこなった

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される
 ■LCCO₂の算定条件等については、「LCCO₂算定条件シート」を参照された